

「新型インフルエンザ等検疫措置合同訓練」を実施

■「新型インフルエンザ等検疫措置合同訓練」が開催されました。

平成28年1月28日（木），大手埠頭にて「石巻港に入港した外国貨物船の船員が新型インフルエンザに感染した」との想定のもと，病院までの搬送手順を確認する訓練が行われました。

防護服を身に着けた検疫官と，石巻海上保安署職員を乗せた巡視船「しまかぜ」が，患者を外国船から移して大手埠頭に着岸し，パトカーが先導する救急搬送車で患者を石巻赤十字病院まで搬送する手順を確認しました。



訓練には，石巻海上保安署をはじめ，宮城県警察機動警ら隊，石巻赤十字病院，仙台検疫所，民間救急搬送会社リーベンなど16機関が参加し，協力依頼や情報提供などの情報伝達訓練も行いました。

「浪板防潮堤」完成

■雄勝港（波板地区）「浪板防潮堤」完成式を開催しました。

平成27年3月に着工し平成28年2月に完成した，雄勝港波板地区浪板防潮堤災害復旧工事の完成式を平成28年2月19日（金），石巻市と合同で開催しました。

浪板防潮堤は，東日本大震災により被災した雄勝港の防潮堤としては最初に完成したもので，防潮堤の階段部分や展望スペースには，地域住民，地域づくり支援団体「ナミイタ・ラボ」の意見を取り入れ地域住民自ら加工した玄昌石が使われており，地域の方々と一緒に作り上げた防潮堤となっています。



当日は地域の関係者を中心に40人の方々が参加されました。開会にあたり，主催者側からは当事務所長並びに石巻市長より挨拶を行い，続いて波板地区会長並びにナミイタ・ラボ代表の方からご祝辞を頂きました。

工事概要説明，くす玉開披，万歳三唱，記念撮影とつづがなく進行して完成式は終了し，式典終了後は，同地区にある波板地域交流センターにおいて，石巻市より同地区地域づくりについての説明会が行われ，また，この場では牡蠣汁やホタテ焼き等が参加者に振る舞われました。

「HIBARINO」が石巻港に初入港

■国際航路の新造船「HIBARINO」が石巻港に初入港しました。

平成28年3月1日（火）、株式会社白洋ライン所有の「HIBARINO（ひばりの）」が石巻港に初入港し、歓迎セレモニーが開催されました。

この船舶は、主にマレーシアから石灰石を輸入し、石巻港に荷揚することを目的としており、積荷はその後、株式会社イメリスミネラルズ・ジャパン宮城工場へ搬送されます。



「HIBARINO」の命名については、株式会社白洋ラインが平成28年1月に竣工した船に石巻港の復興を後押ししたい想いを込め、石巻港の埠頭名である「雲雀野」にちなみ「HIBARINO（ひばりの）」と命名しました。

「HIBARINO」が世界に！石巻港の復興に弾みがつきます。

船名：HIBARINO（ひばりの）
国籍：パナマ
竣工：平成28年1月12日
載貨重量トン：13,919トン、総トン数9,658トン、全長127.57m、全幅19.6m
船主：株式会社白洋ライン 荷主：株式会社イメリスミネラルズ・ジャパン

「第2勝丸」が5年の歳月を経て帰還

■東日本大震災から5年の歳月を経て和船「第2勝丸」が帰還しました。

宮城県水産高等学校と気仙沼向洋高等学校の実習生を乗せた、宮城県海洋総合実習船「宮城丸」（650トン）と和船「第2勝丸」（0.5トン）が平成28年3月11日にたくさんの保護者らに迎えられ帰還しました。

「宮城丸」が今回の海洋実習で米・ハワイ・オアフ島に寄港した際に搬入を行った「第2勝丸」は、東日本大震災で被災して石巻市雄勝から漂流し、平成27年4月に米・ハワイ・オアフ島に漂着しているところを発見されました。そして平成28年3月11日、東日本大震災から5年の歳月を経て石巻港（大手埠頭）に帰ってきました。第2勝丸保存会の関係者や実習生らが見守る中、船体をクレーンでつり上げ、下船させました。



「第2勝丸」は、保存会によって石巻市雄勝町波板地区の海に見える屋根がついた施設に展示され、震災の教訓として後世に伝えていくこととされています。

「感謝の灯（あかり）」 「希望の光」を開催

■「感謝の灯（あかり）」 「希望の光」が開催されました。

平成28年3月11日（金）、石巻港にて、石巻港企業連絡協議会などが主催する「感謝の灯（あかり）」 「希望の光」が開催されました。

今から5年前、東日本大震災により甚大な被害を受け、石巻港は全てが真っ暗な状態でしたが、その後、全国の皆様方からの様々なご支援により、今では企業や工場の多くが業務を再開することができました。



東日本大震災から5年という節目の今年、石巻港に立地している企業約60社がこれまでのご支援に対する感謝の意を込めて、復旧した工場や機械、建物等の照明設備を一齐に点灯させた「感謝の灯（あかり）」と、震災で犠牲となられた方々の追悼と今後の復興への強い決意を込めて5本の青い光「希望の光」の点灯を行いました。

西浜町津波避難タワー完成

■石巻市西浜町津波避難タワーの完成報告会が開催されました。

平成28年3月29日（火）西浜町津波避難タワーの完成報告会が、西浜町の株式会社ヤマニシの敷地内で行われました。

石巻市は、津波発生時に高台等への迅速な避難が難しい沿岸部で、津波避難ビルの指定や津波避難タワーの建設を進めています。今回の避難タワーの建設にあたっては、株式会社ヤマニシからの敷地無償貸与により実現しました。

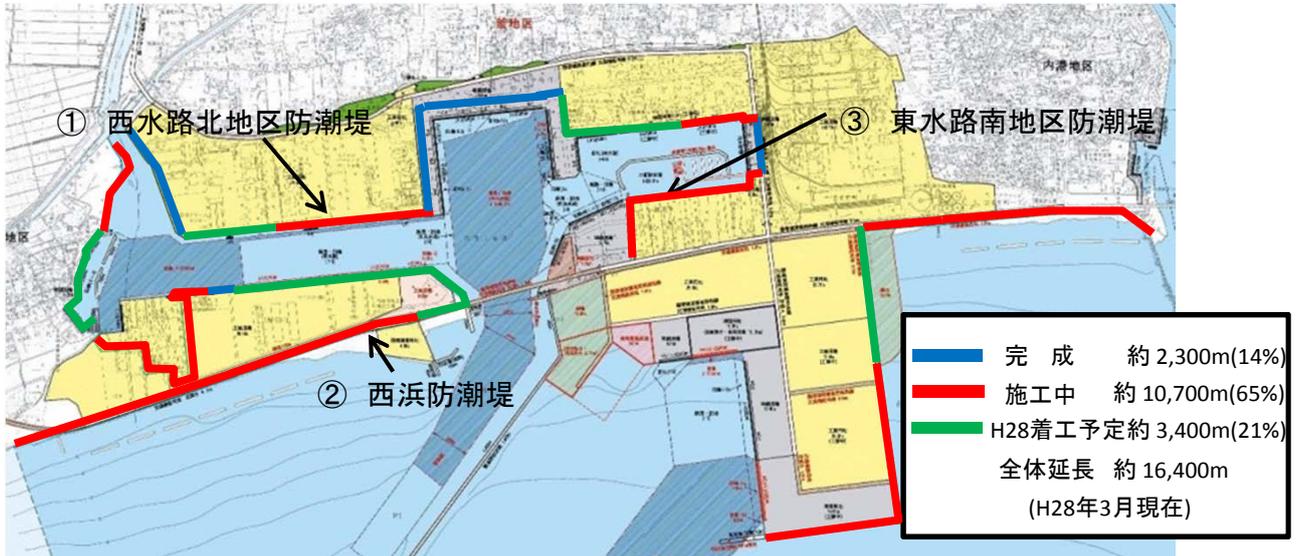


報告会には石巻市長や石巻港内の立地企業の関係者など約30人が出席しました。株式会社ヤマニシの長倉清明社長は「従業員が安心して仕事に従事できる。タワーを活用した避難訓練のほか、立地企業間でも使用に関する認識を共有したい」と語っておりました。

石巻港 復旧・復興工事(防潮堤)の状況

昨年度着工した石巻港内防潮堤工事は順調に進んでおり、続々と新たな防潮堤が着工しています。今後も施工現場の安全確保を図りながら、石巻港内の復旧・復興を加速させていきます。

■石巻港区平面図

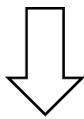


石巻港区の防潮堤工事のうち、平成28年度中に完成見込み箇所の進捗状況は次のとおりです。

①西水路北地区防潮堤



(施工前)

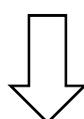


(進捗率70%)

②西浜防潮堤



(施工前)

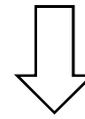


(進捗率63%)

③東水路南地区防潮堤



(施工前)



(進捗率64%)

平成27年度に完成した箇所

平成27年度は浪板防潮堤、女川湾口防波堤を始め、以下の工事箇所が完成しました。

●中島地区防潮堤（新設）

仙台塩釜港（石巻港区）



（施工前）



（平成27年12月完成）

●日和埠頭荷捌地（災害復旧）

仙台塩釜港（石巻港区）



（施工前）



（平成28年1月完成）

●横浦防波堤（災害復旧）

女川港 横浦地区



（施工前）



（平成27年11月完成）

●表浜港岸壁（災害復旧）

表浜港地区



（施工前）



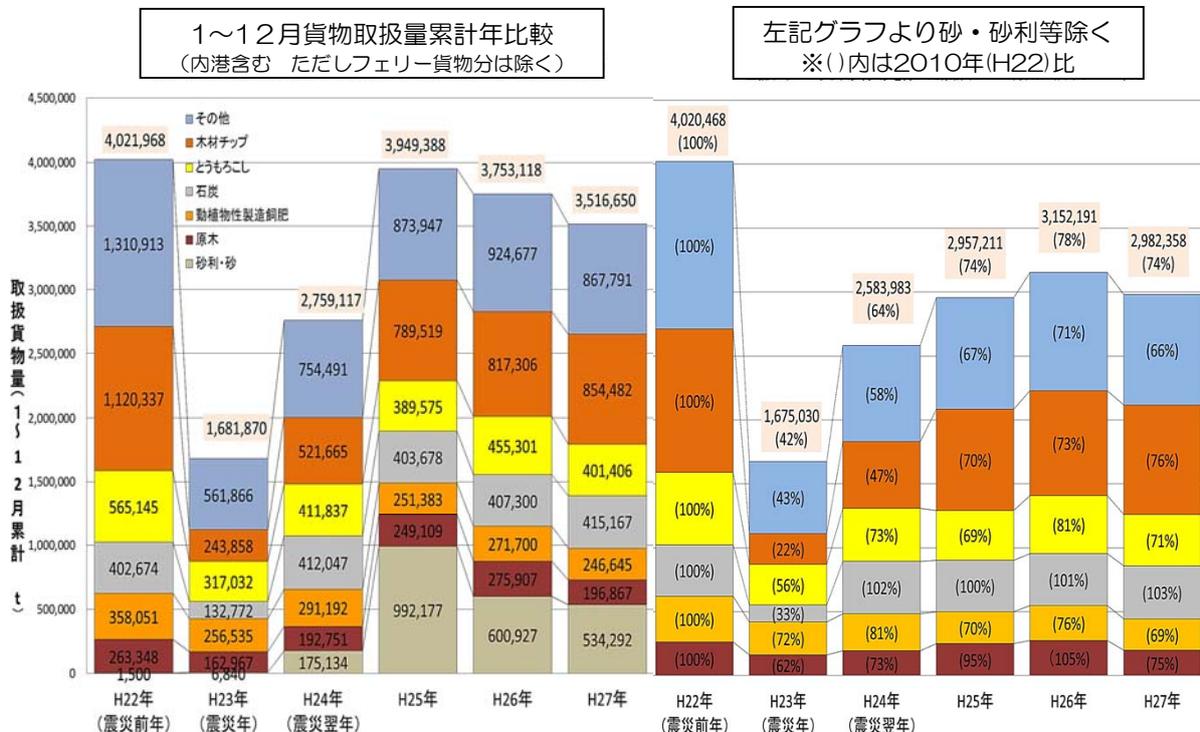
（平成27年10月完成）



（全体写真）

石巻港の貨物量の推移

■ 1～12月累計比較 砂・砂利除きH22比約7割強 H26年比もやや減少傾向。
震災後、復興用資材等として砂・砂利等の扱い量が増えたことから、純粋な比較をするために、砂・砂利等を除いたものを右図に示してあります。
全体量は前年に比べ減少しておりますが、木材チップ・石炭は増加傾向がみられます。



石巻港 工業用地分譲中

■工業用地は、現在3地区4区画にて分譲中です。



□大曲地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
M-1	68,676.56	工業専用地域	分譲中
□西浜地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
M-2	85,615.53	工業専用地域	分譲中
□雲雀野地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
D-1	約 83,000		造成中
D-2	約 73,000		造成中
D-3	約 131,000		造成中
F-3	44,277.80	工業専用地域	分譲中
F-7	41,583.68	工業専用地域	分譲中

宮城県の優遇制度	
○みやぎ企業立地奨励金	
○宮城県工業立地推進金融制度	
○原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金	
○民間投資促進特区の優遇制度 等	

石巻市の優遇制度	東松島市の優遇制度
○企業立地助成金	○企業立地促進奨励金
○上水道料金助成金	○工業用地確保補助金
○緑化推進助成金 等	○環境整備促進補助金

※この他にも優遇制度がありますので、下記に問い合わせ下さい。

問い合わせ先	
宮城県経済商工観光部 産業立地推進課	TEL 022-211-2732
石巻市産業部産業推進課	TEL 0225-95-1111
東松島市産業部商工観光課	TEL 0225-82-1111

支援職員が交代

自治法派遣職員として秋田県・富山県から応援を頂いた5名の方が3月31日離任されました。秋田県から応援を頂いた小松さんには雄勝港を中心に、佐藤さんには女川港や湾口防波堤に携わって頂き、港湾の復旧・復興のために貢献して頂きました。富山県から一年間応援を頂いた牛島さん、呉さん。6ヶ月間応援を頂いた高島さんには主に石巻港内の防潮堤や地方港の復旧に尽力していただきました。

4月1日より富山県から新たに石田さん、石川さん、浅地さんが着任されました。新たなメンバーで今年度一年、復旧・復興に邁進してまいります。



知事からの感謝状を手にする支援職員の皆さん
左から秋田県の小松さん、佐藤さん、富山県の呉さん、高島さん、牛島さん



着任した富山県の石川さん、石田さん、浅地さん

編集後記

今年度第1回目の発行です。

新たな応援を頂きながら一步步着実な復旧・復興を進めて参ります。

今年度もよろしくお願ひいたします。

編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話:0225-95-6271

FAX:0225-95-6273

E-MAIL:iskown@pref.miyagi.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>